

立春を迎え、暦の上では春ですが、急に冷え込むことがあるので、注意が必要です。

2月7日から8日にかけての積雪は、今シーズンで最も多くなりました（写真1）。

★見どころ情報

アテツマンサク（阿哲満作）マンサク科マンサク属（写真2）

マンサクの変種の落葉小高木で、管理事務所横園路沿いで咲き始めました。大正3年に牧野富太郎博士が岡山県の旧阿哲郡（現在の新見市）黒髪山で発見したため、アテツの名がつけられました。普通のマンサクは、花の内側が暗紫色で、香りが生臭く、若葉の星状毛が成葉になると脱落するのに対して、アテツマンサクは花全体が黄色く、よい芳香があり、若葉の星状毛は成葉になっても残ります。これらの特徴は個体差があり、中間的なものも多いようです。別名タニイソギとも呼ばれ、展葉前に細長い4枚のやや縮れた花弁を開きます。

この他、十月桜が秋から咲き続け、春の花になりました（写真3）。冬の花よりひとまわり大きく、色が濃いのが特徴です。苗畑で見られます。

その他見頃情報

開 花…ソシンロウバイ、冬桜、ツバキ各種

結 実…タマミズキなど

その他…コブシの冬芽（写真4）

（低温のため道路が凍結する日があります。冬用タイヤをお忘れなく。）





写真1 この冬一番の積雪（管理事務所前） H26.2.7



写真2 アテツマンサク（管理事務所横園路沿い） H26.2.15



写真3 十月桜（管理事務所上三叉路） H26.2.15



写真4 コブシの冬芽（見本園入口） H26.2.15